



2019年
02月06日
No.A18-10

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2019年1月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・1月29日(火)、秋葉 剛男 外務事務次官「2019年の日本外交の展望」(於：ホテルオークラ)。



<要旨>

日米同盟、近隣諸国(中国、韓国、ロシア)との協力関係、自由貿易の推進、グローバルな課題への取り組み、中東における平和と安定など2019年の日本の外交課題について説明した。

(2) 中東調査会意見交換会

・1月31日(木)「駐日中東大使との新年懇親会」(於：パレスホテル東京「葵東」)。



<概要>

日本に駐在されている中東大使と中東に関心のある方々との交流促進を目的として、新年懇親会を開催した。各国大使を代表して駐日パレスチナ常駐総代表部のシラム大使がご挨拶された後、懇談に移った。200名近くの参加者が中東各国の大使及び関係者と交流を深め、大変有意義な機会となった。



(3) 中東情勢講演会

・1月24日(木)、Jason Isaacson氏 (AJC Associate Executive Director for Policy and Managing Director, Government and International Affairs) 「Israel's Expanding Ties with the Arab World」(於：日本記者クラブ)。

<要旨>

講師より冒頭、イスラエルの経済発展について、天然ガスの開発事業や死海の淡水化事業に関する概説があった。そのうえで、これまでイスラエル・アラブ諸国との関係は非公式であったが、現在、イスラエルがテクノロジー、インテリジェンス、ビジネスを通じてエジプト、オ

マーン、UAE、バハレーン、モロッコ等のアラブ諸国との関係の発展に関心を示し、一部働きかけていると解説した。その他、中東和平における米国の役割、ヒズブッラー、「イスラーム国」等の脅威について述べた。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2019年01月号(2019年02月06日付)
 - 1. アフガニスタン：米国とターリバーンによる和平協議
 - 2. イスラエル：中国の投資をめぐる米国との関係
 - 3. カタル：タミーム首長一行の訪日
 - 4. サウジアラビア：「国家産業開発・物流プログラム」の発表
 - 5. トルコ：プーチン大統領との首脳会談
- ※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポート【会員限定】

- ・No.7「シリアの国内避難民の現状と復興への展望」(1月9日付、1月15日公開)
- ※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

- (3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】
 - ・No.18「JNIMによるPKO拠点攻撃」(1月22日)
- ※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.98「イラン：EUが新たなイラン制裁で合意」
(研究員 近藤百世、1月11日)
 - No.99「シリア：イドリブ県を占拠する武装勢力間の抗争」(主席研究員 高岡豊、1月11日)
 - No.100「イスラエル：世耕弘成経済産業相のイスラエル訪問」(研究員 西舘康平、1月17日)
 - No.101「ヨルダン：内閣改造」(研究員 西舘康平、1月23日)
 - No.102「アルジェリア：大統領選挙の日程発表」
(研究員 金谷美沙、1月24日)
- ※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

3. その他

(1) 要人往来

- ・1月28～30日、カタルのタミーム・ビン・ハマド・アール・サーニ首長が公式実務訪問賓客として訪日。29日に安倍晋三首相、河野太郎外相と会談した。同日夜には首脳晩餐会が催された。また、30日には天皇陛下、皇太子殿下と懇談した。